

令和3年度 入学生用 [ 国 語 科 ] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	国語一般教養	2	選択科目	3年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
学習方法	国語の基礎知識を確認する。 高度な内容に挑戦できるように学習意欲を喚起していく。																		
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1 基盤的学力</td> <td>文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。</td> </tr> <tr> <td>2 問題発見・解決能力</td> <td>問いを立て、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 主体的判断能力</td> <td>物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 協働力</td> <td>他者を尊重し、協働することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 自律力</td> <td>規範意識をもって自律的に行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>7 実践力</td> <td>自ら考えて行動し実践することができる。</td> </tr> <tr> <td>8 自己認識力</td> <td>自分の思考を客観的に捉えることができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をふまえ、授業の取り組みや定期考査、課題提出状況などを総合的に評価します。</p>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																	
	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。																	
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。																	
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。																	
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。																	
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。																	
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。																	
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。																	
	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。																	
担当者から	国語常識を知ることは、社会で生きていくうえで必ず役に立つ知識です。一般教養として国語力を身に付け、社会に出た際に役立ててほしいと願っています。幅広く「国語」を学んでいきましょう。																		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価基準	評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8		
4	基本編	第1回～第15回	漢字の読み・書き	○	○							基礎的な国語力の充実が図られている。 これまでに学んだ事柄を整理し、自分の考えを相手に伝える力を身に付けている。 国語一般常識を身に付けようとする意欲的に学習活動を行っている。	授業態度 発問に対する応答 課題の取り組みと提出 定期考査 などを元に評価を行う。
5			同音異義語・慣用語	○	○								
6			ことわざ	○	○			○					
6			近現代文学史	○	○	○							
7	表現編	第1回～第10回	手紙の書き方			○	○				国語一般常識を用いながら、適切な表現ができる。		
8			文章の整え方			○	○			○			
9			原稿用紙の使い方			○	○			○			
10	発展編	第1回～17回	漢字の読み・書き	○	○						基礎的な国語力の充実に加え、発展させることができる。 これまでに学んだ事柄や知識を確かなものにし、実践的な応用力を身に付けている。 国語一般常識の実践的な応用力を身に付けようとする意欲的に学習活動を行っている。		
11			同音異音・同音異訓	○	○								
11			難読語	○	○								
11			新聞記事・時事語	○	○								
11			古典文学史	○	○					○			
12	表現編	第11回～第19回	敬語の使い方			○	○				国語一般常識を用いながら、適切な表現で自分の意志を表している。 他者の発表や作品を読み味わい、批評することができる。		
1			自己アピール文			○	○			○			
1			詩				○	○		○			
1			ブックトーク				○	○		○			